



# 院内認定看護師制度実践報告 (感染管理)

感染管理認定看護師 清末 絵理

“院内認定看護師が病院内の感染対策の要となり活躍しています。”

## 【院内認定看護師制度とは】

当院では、看護の卓越した知識と技術の普及を目指し、院内認定看護師制度を設けています。日本看護協会の認定を受けた認定看護師が講師となり、1年間の継続した研修を行い、修了者には院内認定看護師として認定証が授与されます。現在、感染管理コース、褥瘡ケアコースを開講しており、平成28年度の制度開始から2年間で11名の院内認定看護師が誕生しました。

感染管理の院内認定看護師は、感染対策チームと協働し、所属部署の問題点を改善し、より良い患者ケアの普及に取り組んでいます。

## 平成30年度院内認定制度カリキュラム【感染管理】

	項目	単位
第1回	感染管理概論/隔離予防策	1単位
第2回	医療関連感染	1単位
第3回	看護に役立つ微生物学	1単位
第4回	看護に役立つ薬理学	1単位
第5回	看護に役立つ統計学	1単位
第6回	サーベイランス	1単位
第7回	チーム医療/感染対策ラウンド	1単位
第8回	職業感染対策/ファシリティーマネージメント	1単位
第9回	感染防止技術	1単位
第10回	院内認定看護師修了試験	1単位

## 感染管理コース修了後の主な活動

- 手指衛生のタイミングの指導
  - 血管内留置カテーテル挿入時の感染管理
  - 尿道留置カテーテル使用時の管理方法
  - 医療器材の安全な管理
  - 新人看護師の看護技術研修
  - インフルエンザやノロウイルスの対策 など
- これらの課題に対し、感染対策チームと協働し、解決にあたります



## 【研修内容 / 地域連携カンファレンスへの参加】

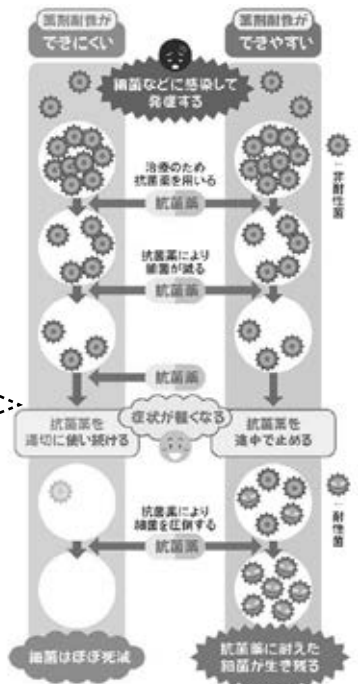


研修では、地域医療機関とのカンファレンスに参加し、他施設での取り組みを参考に自院の課題の解決を考えました。手術室での器材の取扱いやベッドサイドでの医療材料の配置などについて研修生から多くの質問が出ました。

研修生は生き生きとした様子で自身の看護を振り返る良い機会となりました。また、感染対策チームと同行し、活動内容を知ることができました。

## 【研修内容 / 薬剤耐性：AMR 対策とは？】

薬剤耐性とは、抗菌薬が効きにくくなる、または効かなくなることで、AMR(Antimicrobial resistance) といい、現在、内閣官房・厚生労働省がアクションプランを作成し対策に乗り出しています。看護師がこのしくみを理解し、正しい方法で看護を提供することが感染防止の観点から重要となります。院内認定看護師が医療現場で指導者として活躍してくれることを期待しています。



感染を起こしやすい病気を持っている人や小さな子どもたちにとって薬剤耐性菌の蔓延は脅威です。

- カゼには抗菌薬は効かない。
- 処方された抗菌薬は、中断しない。など、拡大を防ぐためにはひとりひとりの心がけが大切ですね。

政府広報オンラインより